

# 学校だより

つよく あかるく すなおに

学校教育目標

学ぶことを楽しみ、次の学びに意欲がもてる子どもを育てる



第3号

北海道教育大学附属特別支援学校 令和5年12月25日(月)発行

## 現場実習Ⅱ期を終えて

高等部進路指導主事 笠井 純

「やってみなければ分からない」、一人一人の可能性と伸びしろの大きさを実感する現場実習ですが、普段は気づきにくい課題も見えてきます。学校では自分から報告したり、相談したりすることができているのに実習先では難しいケースです。スケジュールや手順書など視覚的な手がかりの少なさ、報告すべき職員さんが忙しそうにしているという環境が一因かもしれません。1つ1つ指示が必要で一人で課題に取り組めないケースでは、学校では一人で課題を遂行しているように見えても、教師の支援があっでできていることに気づかされます。どのような支援があっでできているのかを明確にし、支援の方法やタイミングを同じようにそろえる必要を感じます。生徒たちは学校と現場実習先である事業所を歩き来しながら、自分はこんなことができるんだと視野を広げながら、働くために必要なことを学びます。今取り組んでいることが将来の生活につながることを実感できれば、見通しや目標がはっきりし、日々の活動へのモチベーションが高まって、日々の活動がより主体的なものとなり、それが就労意識や活動意欲につながっていくように思います。そのような生徒の姿を願えば、日頃の支援を見直す機会となる現場実習でもあります。

## 中学部の活動～様々な対象とのかかわりの中で～

中学部主事 西村 祐紀



今年度、中学部は「仲間の中で、自信をもって活動する生徒」を学部の教育目標として活動を行っております。生徒の自立と社会参加に向けて、日常生活および地域生活に必要な資質・能力を身に付けることはもちろんですが、仲間の中で、さらには地域の様々な対象とのかかわりながら学習活動に取り組み、自分の良さを生かして自信をもって活動してもらいたいと思っております。

地域の中での活動として、日常の進路・作業の学習で作っている製品を、大学で無料配布しました。夏には「まなびプロジェクト」で地域の小学生や保護者の皆さんに、秋には「北海道特別支援教育学会」で北海道内外の学校の先生方や大学教授の方々に、また先日は「函教大 大学祭」で



地域の様々な皆さんに配布いたしました。受け取っていただいた方は、「すごーい!」「きれい!」などとたくさんの感想をいただき、当日参加した生徒はもちろん、参加できなかった生徒にも学校で感想を伝えました。

身近な地域に活動を広げることでより多くの体験を積み重ね、自分たちが行っている活動にさらに自信や意欲をもって取り組んでもらいたいと思います。



# 【きりのめ文化フェスティバルについて】

## 小学部

12月7日(木)に、体育館で保護者も参加してのクリスマス会(授業参観)を実施しました。クリスマス会に向けて、子どもたちはわくわくタイムや制作活動、音楽活動などの時間でクリスマスツリーに飾る装飾を作ったり、演奏会に向けて各学級で鈴やマラカスなどを使って練習をしたり、衣装を作ったり、準備をしてきました。子どもたちからも、「クリスマス会楽しみだ!!」や「サンタさん来るのかな?」など様々な声も聞こえてきて、クリスマス会への期待も感じられました。クリスマス会当日は、たくさんの保護者に参加いただき、子どもたちもウキウキ、ワクワク…。子どもたちはサンタやトナカイ、ツリーに変身し、保護者と一緒に毛布リレーをしたり、ツリーに飾りつけをしたりしました。演奏会後には、サンタさんが登場し、子どもたち一人一人にお菓子をくれ大喜びでした。クリスマス会にご参加いただき、お菓子の袋詰めなどご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



## 中学部

中学部は、『音楽発表会』を活動の中心に据え、「音楽活動」「造形活動」「チャレンジ学習」の時間を使って準備に取り組みました。「音楽活動」では、普段の授業で行っている歌唱活動や身体表現、器楽演奏の発表の練習に取り組みました。「造形活動」では、発表会の題字や会場を飾る輪飾りの制作・準備をしました。「チャレンジ活動」では、保護者の皆様へ「音楽発表会の招待状」を作り、届ける活動に取り組みました。それぞれの活動を通じて準備してきた成果は、12月19日(火)の2学期参観日に『音楽発表会』として披露しました。ご参加いただき、生徒たちの発表を見守ってくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。



## 高等部

11月14日(火)に行われ、午前は、きりのめの家を会場に保護者向けの作業製品販売会を、午後は、体育館で学習成果発表会を実施しました。作業製品販売会では、作業学習の授業で木工、縫工、陶芸の各班ごとに製作に取り組んできた製品や交流学习を行っている大野農業高校の野菜や果物などを販売しました。作業班では、生徒は、販売の他に実演も行い、日頃どのように製品作りに取り組んでいるのかを知っていただくこともできました。学習発表会では、全員でボディパーカッションを行ったり、音楽、美術、体育の選択学習の授業の取り組みを発表したりしました。どのグループも普段の学習の成果を発揮することができました。保護者の皆様には、たくさんの製品をご購入いただき、また、たくさんの拍手もいただきました。ありがとうございました。

